

学科名	学年	教科	科目	単位数	教科書	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用 の技能	知識・理解
普通科(文系)・農業科 商業科・海洋科	2	地理・歴史	世界史A	2	明解世界史A〔帝国書院〕				
科目の目標	近現代史を中心とする世界の歴史を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解させ、現代の諸課題を歴史的観点から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。								
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用 の技能	知識・理解					
	現代世界の特徴や課題への関心と世界史学習への意欲をもとうとしている。国際社会に生きる日本人としての自覚をもとうとしている。	現代世界の特徴や課題について考察し、判断した過程や結果について適切に表現している。	現代世界の特徴や課題について資料を収集し、適切に活用する技能を身につけている。	適切な主題に関連した現代世界の特徴や課題について理解し、その知識を身につけている。					
単元名	項目名	学習到達目標		補助教材	評価方法				
世界の一体化と日本前近代の諸文明	人類の始まり アジアの文明 西アジア・北アフリカの文明 ヨーロッパの文明 南北アメリカの文明 ユーラシアの交流圏	・人類の登場と、農耕・牧畜による食料生産を基礎にして、人類が文明を築き、歴史時代へはいつていくありさまを地域ごとに概観し、各地域世界が形づくられていく過程を理解する。		フロムナード世界史(浜島書店)	発問 生徒観察 ノート	○	○	◎	
一体化に向かう世界	繁栄するアジア 大航海時代	・アジアのティムール・オスマン・ムガル・明・清などの諸帝国の政治と社会にふれ、この時期に安定した支配と経済の繁栄を背景に、文化も黄金時代を迎えたことを理解する。 ・ユーラシアの内陸及び海域のネットワークを背景に、諸地域間の交流が進み、ユーラシア規模の交流圏が成立していくようすを交易品などの事例を通して巨視的かつ視覚的に把握し、相互の文化受容の進展について理解する。			発問 生徒観察 ノート	○	◎	○	
欧米の工業化とアジア諸国の動揺	ヨーロッパ・アメリカの諸革命	・アメリカ諸国の独立、フランス革命、産業革命、拡大する貿易活動などを通して、西ヨーロッパとアメリカに産業社会が成立し、市民社会および国民国家の形成が進行したことを理解する。			発問 生徒観察 ノート	○	○	◎	
	自由主義・ナショナリズム	・19世紀後半のヨーロッパ、アメリカ社会を通して、自由主義とナショナリズムが進展していくようすとアメリカの発展について理解する。			発問 生徒観察 ノート	○	○	◎	
	アジア諸国の動揺	・オスマン帝国の弱体化やムガル帝国の崩壊などを通して、世界市場の形成を背景にしたヨーロッパ諸国のアジア進出とアジア諸国の状況、植民地化や従属化の過程での抵抗と挫折、伝統文化の変容など、アジア諸国の動揺のようすを理解する。			発問 生徒観察 ノート	○	○	◎	
	東アジアの大変動	・西洋の衝撃により、東アジアの伝統的な国際秩序が崩壊していく過程を通して、ヨーロッパ諸国の東アジア進出と東アジア諸国の状況、半植民地化や従属化の過程での抵抗と挫折、その中での日本の対応など、東アジアの大変動を理解する。			発問 生徒観察 ノート	○	○	◎	
	世界大戦 現代につながる社会の形成	・第二次世界大戦の原因や総力戦としての性格、それらが及ぼした影響を理解し、平和の意義などについて考察する。 ・20世紀前半の国際政治の流れを概観し、国際関係の変遷と社会の特質を理解する。			発問 生徒観察 ノート	◎	○	◎	
冷戦から地球社会へ	冷戦の時代 地域社会への歩み 持続可能な社会	・第二次世界大戦後の米ソ両陣営の対立、アジア・アフリカの民族運動と植民地支配からの独立を理解し、核兵器問題やアジア・アフリカ諸国が抱える問題などについて考察する。			発問 生徒観察 ノート	○	◎	○	
まとめ		・ここまで学習したことをふまえ、現代世界の特徴や課題について、それぞれが興味のあるテーマを見つけて決定し、自ら調べて、レポートにまとめ、報告・発表することができる。			レポート	○	○	○	